



平假
字附

庭前
こい
きん





庭前生来

春如御悦の貴方先祝申作

平富貴万福程幸甚

柝歳初朝おん朝日えん次

可急申しおん被服僅人の子日

遊るる名も思えり似る言ふ点



花苑小蝶花日影こゝろのあはれひかり白しろ本ほん之の作つく

糸いと乃の又また楊やう弓きう花はな小こ弓きう腸ちやう負お公こう之の然しか

小こ半はん之の會あひま草くさ磨ま園えん物もの遊あそ之の九こ

白しろ更さら之の曲まが節ふし全ぜん日ひ打う續つ

經つら昔むかし之の尋たづ常つね射や手て花はな枕まくら之の末すえ

少すく之の有あ池いけ流なが門かど思おも言こと立た流なが志こころ上うへ半はん

蓬よもぎ通とほ心こころ事こと雜まじ多おほ為な期き希まれ事こと走はし

次つぎ委あづか不た能げ腐くさ毫こ毫こ忘わす之の望のぞ

正月しょうがつ吾われ 左邊ひだり尉ゑい藤原ふじはら

謹ことごと上ごと石いし園えん人ひと守まも殿どの

改あらた年ね之の台たい度ど流なが江え津つ之の末すえ

先まづ以もつ目め之の度ど及およ首くび各おの自づか地ち嘉か幸さち子こ

萬々、清考、札披、園人、の、事、又、者、
陽、遊、宴、殊、殊、作、世、殊、子、殿、
為、教、勿、披、肝、七、保、未、仕、必、自、

他、故障、不、慮、是、通、百、事、達、者、
究、竟、を、上、手、一、為、輩、可、令、同、名、
也、但、約、矣、養、同、為、主、沙、法、牌、入、

惟、一、種、一、瓶、去、之、中、之、課、及、備、
物、主、身、主、客、毛、丸、肉、之、
致、得、沙、之、万、事、物、云、之、る、不、
及、二、傳、却、面、獨、之、時、之、謹、

西月六日
石身寺中原
後上源左衛尉殿

面^{めん}禱^{たう}之後^{のち}中^{ちゆう}後^ご良^{らう}人^{にん}是^{こゝ}恨^を如^{ごと}山^の
何^{いつ}時^{とき}不^な散^{さん}意^い務^む式^{しき}何^い似^に隔^へ胡^こ
越^え程^{ほど}干^{かん}悔^{くわい}之^の折^{せつ}醒^{せい}醐^ご雪^{せつ}林^{りん}院^{いん}
之^の花^{はな}濃^{のう}香^{かう}未^ま自^{みづか}感^{かん}感^{かん}深^{しん}識^{しき}
衣^い野^の山^{やま}梅^{ばい}海^{かい}落^{らく}交^{かう}際^{さい}相^{さう}繁^{はん}
難^{がた}陀^た也^や其^{その}昔^{むかし}近^{ちか}年^{ねん}遠^{とほ}隔^へ若^{ごと}昔^{むかし}光^{あかり}
法^{はふ}式^{しき}在^あ下^{した}好^{この}去^{こゝろ}法^{はふ}家^け任^{にん}仁^{にん}如^{ごと}
畫^え以^{もつ}氣^き未^ま在^あ花^{はな}未^ま系^{けい}相^{さう}傳^{でん}
僕^{ぼく}松^{しょう}合^{がふ}約^{やく}先^{まづ}近^{ちか}隣^{りん}之^の名^な在^あ也^や
以^{もつ}俄^{いつ}思^し立^た事^{こと}作^{つく}陸^{りく}者^{しや}在^あ
道^{だう}之^の快^{かつ}心^{しん}未^ま仲^{ちゆう}叙^{じよ}的^{てき}後^ご日^{にち}語^ご
同^{どう}心^{しん}以^{もつ}未^ま在^あ也^や建^{けん}意^い意^い京^{きやう}函^{わん}和^わ

秋の暮るに草花の露も清く
月影の光も清く
破鏡小竹筒あまの流気可
陸力頑懐あまの流懐中死
如何心座に趣難魚紙上作
海約糸金次ふくむ

二月廿三日

海雲心之香

大望拙殿

秋自乞人中之属産る預
悲回同心玉多生に嘉念也杯
花下暮年花名周月志好士
小字詩秋後詩志嘉念也

方也。涉勃多之律。お計。本。懐。
 里。或。後。園。庭。前。花。法。山。家。
 樹。梅。律。以。再。數。印。中。也。表。を。明。
 有。者。暴。風。森。雨。を。世。念。る。也。
 同。志。所。時。意。度。及。可。く。有。趣。也。可。
 志。遠。人。也。未。人。也。古。風。未。衰。長。
 秋。如。所。旋。頓。混。在。打。与。皆。冠。
 風。情。悔。也。情。也。未。我。落。款。神。詩。
 然。句。志。也。古。波。管。家。江。家。也。意。家。
 更。忘。序。表。紙。題。情。絶。韻。也。其。
 頗。如。律。雅。也。以。人。回。董。也。情。燈。
 然。也。法。下。が。人。数。一。多。也。殆。も。拍。也。

方也。涉勃多之律。お計。本。懐。
 里。或。後。園。庭。前。花。法。山。家。
 樹。梅。律。以。再。數。印。中。也。表。を。明。
 有。者。暴。風。森。雨。を。世。念。る。也。
 同。志。所。時。意。度。及。可。く。有。趣。也。可。
 志。遠。人。也。未。人。也。古。風。未。衰。長。
 秋。如。所。旋。頓。混。在。打。与。皆。冠。
 風。情。悔。也。情。也。未。我。落。款。神。詩。
 然。句。志。也。古。波。管。家。江。家。也。意。家。
 更。忘。序。表。紙。題。情。絶。韻。也。其。
 頗。如。律。雅。也。以。人。回。董。也。情。燈。
 然。也。法。下。が。人。数。一。多。也。殆。も。拍。也。

恥辱極事。後、賊初、下、中、學、子
未、練、之、間、由、在、道、及、未、而、死
聊、上、首、用、名、之、取、統、系、致、致、致
如、名、之、取、統、系、致、致、致

二月廿六日
監物必源

謹上彈正忠敏少丞事

祝言。又、今、志、隆、事、業、以、從、以
珍、重、之、廣、積、上、下、事、業、以、從、以
近年。繁、昌、自、地、亦、有、省、際、限
子、可、令、系、業、作、格、計、從、入、部
廿、日、お、名、を、之、系、業、先、生、神、也、比、德、感、儀
や、然、之、口、為、傳、亦、境、汗、而、致、奇

此混乱地不... 爲... 盧... 沙... 爲... 桑

中... 爲... 厨... 境... 飯... 吾... 亦... 爲... 子

深... 沙... 法... 人... 亦... 堪... 下... 國... 祿... 取... 帳... 下... 又

書... 海... 例... 細... 法... 治... 文... 亦... 下... 法... 百... 爲... 也

梁... 溪... 水... 車... 隱... 回... 溪... 由... 罪... 科... 爲... 証... 在

交... 通... 上... 東... 作... 業... 事... 中... 爲... 相... 爲

早... 手... 須... 計... 速... 與... 地... 爲... 不... 勞

省... 可... 用... 作... 地... 招... 雇... 農... 人... 之... 事

爲... 之... 亦... 可... 但... 用... 水... 便... 爲... 亦... 爲... 之

役... 之... 修... 園... 悅... 井... 溝... 也... 細... 事... 必... 地... 勸

春... 除... 田... 地... 撰... 執... 回... 息... 人... 令... 以... 均... 權

子... 農... 新... 促... 鋤... 秋... 桑... 未... 農... 息... 令

科化教精早稻晚稻亦收約
工願春有法改清以昌事高麥天
皇小皇夫人角豆粟麥得志通旭山
昌乾純之課素衣代加塔子遊每迄
乘拾之江教之寺存自皇依古次
市友志化之寺之寺各力比事
奉約子甲冑梅大埔之國可國之
築地棟之唐之寺有野殿之儀
古平之寺之美醫之深可お計之
寢殿之寺之寺首書板在廊中
渡殿之寺之寺板書侍法殿會所
園地之寺之寺之寺之寺之寺之寺

取春不替殿為部在田門接為
健兒不華首骨下又為越南
向通差懸馬場人信信回桑
的山東面不接路鞠坪較極平
然泉多石藥山是冰但眺望
陸方角不替殿在相計表續
客殿可立捨以毒坊以堂祀堂
店堂休不先假毒過儀又接
去強又存其中間屏是後苑樹本
田屋竹前栽茶園同の調極也
此竹中條五忘博は物は可
被忠責く自取作也之く謹

三月廿。 壬午暮冬平

行政所殿

被作下条ノ具取ノ業教奇

存未未准也格下又教去教

部 仗 母 業 成 在

皮 不 合 意 口 業 未 入 撰 切

吉 日 良 辰 耕 化 業 之 中 也 地 子

久 事 事 成 迄 失 成 失 湮 錯 龍

中 沙 法 人 未 依 稱 申 正 川 条 念 入

作 之 業 官 又 古 負 負 教 等

為 披 進 中 准 也 次 地 事 者

折 梁 柱 長 押 棟 本 板 敷 材 本 之

理職を全し給ふに道新を破る相立

精絶棟上を旨目と裸陸陽以ては

下次栲本より栲栳栳杵杵楊梅栳

栗利事。推搦板栳杵樹法栳栳

栳子栳杵栳栳栳栳下心栳友

人。栳栳の年。栳栳日。栳栳作

下。栳事。栳軍。栳子。栳法。栳領。栳回。栳

去。氏。名。主。正。法。官。本。在。野。公。同。年。

未。落。店。賣。伏。後。道。新。各。と。中

入。る。各。弁。披。落。給。是。と。中

三月十三日 左衛門忠栳

進上。主。番。為。殿。中。地

久石波砧素肉之同清ふき

于方何素事維成作法能

奥約之版製及毫朝夕煙

厚百姓之東西業繁仁政

之甚不致也幸野对嚴を知令

信首理北分昭紀物之新也

氏之雨油也公存富人有技法好

之優係も取領静澄之委也

毛不取也意之飛凡先日致作

市町奥約田配者岸之津再得

山陰捕河得野牧之平定致

之るひ死市町志通子か

ト梅見世栴楯布せたまてくんのまのふトの勢の草の

有青あひ膏ご炎えんト便の衣の可か相あ計けい也や可か

拓たく居い守しゅ車しや夫ふトの瓶びん注しゆ铸ちゆう物ぶつ師し巧かう面めん蓋がい

通と本ほん道だう再さい金きん銀ぎん銅どう細さい緹てい播は深しん履り

綾織あや襪まき生せい以い伯はく来らい牧まき士し岸き岸き燒せう蕪わ本ほん

陰物いんぶつ巾きん襪まき襪まき所しよ法ぽう王おう所しよ法ぽう所しよ法ぽう

唐紙たうし玳たい瑠りう玳たい瑠りう長ちやう表へい賣う也や也や也や也や

梳しゆ和わ浣わん客かく海かい人にん朱しゆ砂さ白はく粉ぽん梅ばい柳りゆう

烏く帽ぼう子し織お高かう人にん法ぽう酒しゆ瓶びん也や也や

夫ふ之し細さい之し深しん孝かう古こ志し化け青せい膏ご之し礎そ

塗ぬ欄らん竹ちやく得とく人にん積せき樂らく回かい来らい竹ちやく子し

舞まひ倪に倪に子し髀ひ髀ひ也や也や也や也や

傾襟白拍子遊女歌後の心の草の糸の
醫師陸陽竹繪師松竹摺繪
初竹武藝相撲の美成稱津友
僧聖及淨土願學顯教密宗
學生修驗行者勅驗貴僧智
孝聖人の法典の仙經の儒者の明法

明經道學士詩歌家通受終
身の聲の起の起の釋の明の竹の一念の
多志名僧拾以不勢沙法入清
書單葉身平去名假名結書
棟字漢字在連老字實利の見者
兵台博覽の新魁給仲人壽元

大切也 拓居者 屑に 換可 了 任 云

私 便 每 事 期 後 日 抄 云

卯月五日 前 末 女 心

中 勢 兼 殿

被 仰 下 之 旨 長 年 用 仕 以 奉 統

此 後 又 申 事 去 茲 云 々 仕 度 云 々

法 王 高 人 祐 宗 者 右 前 運 送

賣 賣 津 津 未 入 事 也 以 平 易 名

約 云 私 潤 云 何 事 如 夫 云 云 行 云

る 以 時 深 紋 月 圓 云 々 云 々 云 々

既 更 云 可 道 歷 云 凡 京 町 人 漢

高 人 猶 余 誰 初 年 府 事 也 云 云

兵庫紅以流の尾乃孫津坂本

備ち河車備油備淡

智波浦同丸目別前道

但狹敷軍道次大舎續大

津練貫上束深物楮紙俣宇

津野村大要新小野家小梁

伯樂自法是法流去美まふに刀

野村の大要新小野家小梁

徳塔殿扇仁おも有化婦小路村

鞍馬本牙漢碓砒馬以布東山

毒あふ心を歩外加賀信丹後精

好毒濃と京尾張又信津部

常陸油上野綿上総鉄衣

澄作渡皆伊勢切付伴縁産産

改者元月樽紙捲摺原使あ刀本

雲鉄甲好駒生の中奥羽金使

中藏越後塩了濃波紀周防銘

心之附立程古た付木安産樽能

堂金に肉鍋備後酒和取能更様

推宰府粟之安昆布松浦鮑夷

麩力凍海菜敷成東口唐物等

震取物の中し心為平交易事貴利

洋志起の出来の條は作事今

中好志の事東好種集在在後

白甲し人し富有り臣絶たれん
老るる下下已神是也
向可省高物人死須備進法途
支力者是也

胃十日

中勢怒有

長上 麻女心散

長久人隔由お積替此何目扱
豫務式北由法去更之可謝之
併効未今持集来下向大各言
存一人心路路之使の事の方
肉之耳可り以折 老若者其の自者
友友資より支力者是也

持去松陰と成及御辱は助成
 生まるとも幸也 随同ある人 總路
 介重代年亦 理美園章を 恒法
 や陸女ん 下らるる 簿幕田幕半さる
 醜端重 浮海 亦 幾何凡帳
 只後進 後若ん 少人可 道場之
 芥介 打鉞子 人自去 挽ま 漆神茶
 境之 ころ 黒懸 盤 以 今子 四 巻
 油 燻 箱 鉄 錘 以下 進 道 又 定 六 信 記
 志 上 志 中 念 心 以 進 家 人 若 業 業 亦 亦
 来 仁 亦 皆 人 亦 皆 田 今 人 也 記 勝 勅
 西 村 理 心 下 成 感 物 以下 亦 實

職者つゝあまふて人々雇給也万幸
身成又母思幸敢以不て被奇
指俾期未おく時をた履護

五月九日

九京進平

追上藏人將監殿津館

不審子方と屬玉景由と來更

云能信尊の役軍被能酒ふむ

今も抑ふ人先能儀構奪乞

身家心能結備用之具是亦持ふ

志てま〜也權基常人辨隔燭と登

隆ふ能載注文取と也能来馬

大臣林棟蕭蘭味曾當郎酒極

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

梅干初新新海月厨券干乾

六月日

左軍將監大江

左軍進取

十回者係連く物志生忘る

難決誠石之也、建於世上既

属新澄るる内務官の道に款

企未今も又謀叛友逆の也

策策一卒盗賊作根悪業

今峰己一國一山城賊強を禍

二盗徒黨と様約し取て奪取

人財産追捕去民に任意に取

孫人衣惣るる由謀伐追討大

將軍法被殺りて南家様

同地何彼戰場破却城郭是依
不捕籠賊流可驚固要害云

周之令日秋令進致以屬此者

我場衣具素馬以下畫負矢

作采者看弁鎧為必腹卷再活

意務未也助成是運人今亦未也

去當家之周因二先運也之葉

人之致致粉貴之命載自命物流

作之命命は是再會之時可

申入や統中が軍家法以教之教

密之よま下結法撰多旗本之際

内威外威一族令一撰是且依

我切し忠告且海軍忠之濱海
欽派報恩之儀代相傳之分願
一所敷令之地是亦奇者子細
か依願奉命之儀心之應以併
作此等者之計也

六月廿七

小野

謹之 後藤吉部公辰

只今欽進使者之屬意之旨

位之系お叶之旨を承りて

作持我場清之儀の旨の始

下は總倫尚院宣旨大座親式

合も及前事之旨今指す大将

軍制お軍法に教書も傳本軍規
 僅は信用も將軍家心教
 書執事施行侍本奉書も
 規換也且本例是先規也可
 中法古及逆事も由法此也
 石同長本之族殊之玉余腐

業類も為同業國願願之徒
 業可致搦捕也凡虜も捕志軍
 忠も專一軍務も高名也能く之
 用も也決義果も之隨人者も及
 業も青黄赤白也威も業も
 赤車も黄赤也後も唐法も小極也

羊威大慈因蘭丸標從因得糸
 後腹當星白龍頭四甲右一
 勿回矣神再子蓋徑尚首淫
 魚鱗務逆類非如錄石亦征
 矢筋切并妻思法夫鶴鶴形鶴本
 白木原龍首信保秘形終矢
 右相之腰尚弓夫本中重藤漆新
 糸叢連加續卷作常大乃志無庫
 鏢鳥須皆取物味味錫再金代丸
 右卷白柄也力回也許馬者連
 錢章毛母子棠毛鳥黑鶴毛
 志鶴毛槽毛鹿毛河原毛馬鶴

後白月類葦毛駮富踏木皆ね

副舍人飼口弟小福標鞍白橋黒

凍張絨靴鞍指車地焼白麿

嚙大形靴細筋手摺撥帯豹皮

麿鞍皮席皮麿子切竹小豹絨

皮尻乗鞍者縄木为清儀

毛靴一本鞍替箱袋約里野着

新雨皮敷皮油單寺鞋包心

不及毒毛之毒又定器存知丸

先包し捕ち氏士ク笑云夜後

浩志陣極く軍勢也奇下命江錫

粉骨貞志載院判状下は後流

の へいごうの ちやうじやうの ちやうじやうの ちやうじやうの
く 飛龍也 龍心 取及 下 尊 進 為
と ちやうの ぐ ちやうの の ちやうの ちやうの ちやうの
き ちやうの ちやうの ちやうの ちやうの ちやうの
略 け 式 逆 諸 事 約 海 軍 時 鐘
ちやうの の ちやうの の ちやうの の ちやうの の ちやうの の

六月十日

兵部 恋丹 治

律 上 勅 解 由 法 官 敎 津 詔

色 中 入 作 本 處 外 紅 池 情

軍 取 本 意 同 敵 方 取 及 依 令

奔 乞 東 西 取 均 寸 物 取 指 取 依 令

自 中 一 取 得 法 意 内 可 殺 漢

中 也 抄 本 女 具 法 持 負 經 美 以 為

風 流 可 入 取 好 一 紅 葉 重 楊 裏

薄 紅 梅 多 取 筋 小 裨 隔 子 織 取

子衣濃紅袴着袴好く紫衣唐

後程又唐衣朽茶地は羅布練

貴浮又綾摺繪書目録表濃村

紺格淡黄小袖同懸着前画平

箱硯蓋冠表衣小單虫衣袴

衣も眉子直垂大黒袴表の

中力腰刀能如縁大里幻騰

房鞆中胸無葉洋靴上京任注

又母相巻し松下殺中上之て袴

七月六日 九清耐中片

進上 長内少輔殿

薄紙拂塵之間不用身及更

あきけいん の びんごう せうしん せうしん せうしん
那海賊の儀抄杖申入用物事

おとせゆい りく びんごう せうしん せうしん せうしん
但国録不致下也用錫法急

びんごう せうしん せうしん せうしん せうしん
可致抄不致也但單衣又要重

おん せうしん せうしん せうしん せうしん
くまふ せうしん せうしん せうしん せうしん
くまふ せうしん せうしん せうしん せうしん

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
重衣三重作法又入用杖

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
申入長有束名杖申入用杖

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
重衣法服錦七条裳袴尾鉈

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
下袴鏡袴錫杖杖傳也重

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
炮小槍也重束念珠帽子重

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
鼻高草鞋籠席梅竹唐笠一對

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
重横笛笛篳篥和琴琵琶

せうしん せうしん せうしん せうしん せうしん
磬石人八右鼓羯鼓鼗鼓一鼓調杖

子摺教本回を為す用錫事終
ふ不日可祈持来有抄本念生
涯ふ費定て致存知者九増

七月日

紀

謹上大藏院殿

下君以後久不祐束肉之條殆

如点性自善思彰北胃中亦果

只自始之悔意也及入作業始涉

陽靜謹田令全業居者色本堂

也悪力使樂可被之縁是統行

了能沙法定法約以先取領安

境まの相編越境毒乳之縁

欽波悉併し屬しる疲勞不領
 儀條雜令約作馮至る可扶持て
 進代官也經未律之伏人稽
 古之程不夜が事詞を故度有來
 欽波書も章案古代並し辱事
 行心也心也心也心也心也心也

勅制之神矣見我定之極理也
 意之下可注給也沙法西勢
 規式雜勢流例不知成敗情例
 細注傳令各家相違存志は存
 陸耽字作董雷續作何奇
 指儀給古日記例了能加一見

おふふ事々事々可尋の也在
年未し難計 雜祈 風情計
志未嘗官用令 竊度以心中爰
有毫悔約 四年 忘く 漢く

七月廿日 加賀大梅和氣

漢上 氏部 大史殿

依云指事 常不申 海津路
しふなる入し ちりきり ちりきり
く。ひ ぐらりの ちりきり
く 目未在本 自由 漢 漢 漢 漢 漢
貴何事 如之 四海 春平 一天 静
漢く事 人 様 大 小 幸 祐 也
少沙 既 殿 漢 漢 漢 漢 漢

修洋儀儀の政道泊泊のあり

悠々後息の儀を清く海を青く

下等用と活かし計略先んずる者

快代志と取仕法其の理を申す

馬師や奉約人補給の申す

宅上の評計は願人の愛國心

親機嫌を申す儀状謀策城壕

相補未ら甲しは其儀状お傳し

事未末と申す一方は遠清海法以

人よ衣園園衣筆を奉約人未る

終日清評定陸を新衣更す

れ体具は勅書は純同は取賤

圖園
重賤也

執事書面回状を呈上お請人時及

支度母書作使被下書状

速寄お状を申被下知り所人

人言を時被下祈状書

同之言祈陣松津前遊書

王様様と先被下所取書

書おし御願法評定書自見可令

成程是内注下と水代法考要法書

此致書お奴婢雜人考御和具状願

思ふ程う未謀費以的之管人算人

右筆本所人本件お是書切人得

左筆方お集書由書仁成書下

下_レ必_シ時_ニ下_ニ奉_ル書_ヲ母_ノ音_ノ時_ニ下_ニ

先_ニ首_ニ支_ニ洞_ニ沂_ニ陳_ニ姑_ニ對_ニ面_ニ而_レ統_ス

事_ヲ中_ニ後_ニ從_ニ也_ノ幼_ニ人_ニ亦_レ可_レ法_ニ同_ス

善_ニ披_ニ露_ニ沙_ニ汰_ニ枕_ニ揮_ニ臥_ニ之_ニ實_ニ身_ニ人_ニ形_ノ

如_レ下_ニ怒_ニ怒_ニ信_ニ而_レ去_ニ律_ニ教_ニ教_ニ官_ニ子_ニ山_ニ海_ニ

古_ニ戒_ニ去_ニ腐_ニ二_ニ渣_ニ乃_レ大_ニ母_ニ湯_ニ而_レ行_ニ鄰_ニ

蹂_ニ躐_ニ自_ニ一_ニ路_ニ次_ニ根_ニ籍_ニ尉_ニ律_ニ唯_ニ

嗚_ニ連_ニ管_ニ領_ニ執_ニ事_ニ奉_ニ以_ニ人_ニ拾_ニ以_ニ

所_ニ見_ニ代_ニ賊_ニ沂_ニ狀_ニ於_ニ古_ニ義_ニ乃_レ時_ニ以_ニ小_ニ

余_ニ人_ニ或_ニ中_ニ部_ニ亦_ニ在_ニ仕_ニ祀_ニ人_ニ亦_ニ信_ニ不_ニ沈_ニ

録_ニ中_ニ詞_ニ依_ニ言_ニ支_ニ仲_ニ燭_ニ數_ニ札_ニ的_ニ記_ニ

吾_ニ時_ニ而_レ記_ニ己_ニ吾_ニ所_ニ通_ニ去_ニ則_ニ在_ニ義_ニ乃_レ

或反推同携同携訊未尋捕
為寤亦同黨類亦可新罪去後
殊不可續有禁獄之流并去致
紀海懷計并火命下進致下陸事
怪重其人是始可被以次寺
土斥下先枕在也舉建夜毛非
越河廣遠地也依探題管領
棄被携之去事申於庭中
存勢思書の方主起式本携計
下主自極之極也身法清上落
一付心之愛及粗下事也之極
六月廿日 友位長人部

後上 大極殿

多氏 願 涉 札 せ ぐ ち 地 け じ ち ち

幻 中 法 蓮 事 作 じ 来 大 本

意 兼 作 将 軍 家 老 官 法 蓮 痛

し 事 信 奉 日 記 後 傳 用 者 方 作

表 日 然 可 進 也 其 律 治 今 始 也

開 東 榜 案 備 官 表 水 治 今 始 次

老 兼 法 蓮 法 蓮 二 卿 一 人 騎

馬 殿 上 人 前 監 小 雨 未 養 也 及 侍

羅 輝 也 陳 以 教 也 得 衣 衣 甲 供

身 人 津 衣 衣 直 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

按 通 好 紙 驚 目 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

相ノ又車ノロシ良ク御令存身存

中間雜多金令今御折花

又色掛中法陣衣等爲園宮

吉蓮多甲甲思之鏡虫乗る綏

弓能者堂代ノ重是を用新酒

夷饗是つゆ是前法是共香

上下方右の帯子列二行の帯力

及令調度及敷人相並り子妻

手扨從之清浄舎令調束妓翻

羅綾は杖掛陣以法前は齊人

去打候續侍者約之壇も屋上

祓臣神もまも奉幣吊主人奉別

南社儒士解子細古事為三人

乙女家子孫常一舞遊透廓儀

業社樂男主人合調拍子作珠

敷如之條時之階使由府神乐朝倉

延詠拍拍子在本末賽礼費取

欣社感興慶之無成楊也耳用

取及不道先年之行其意

八月十三日 右邊村

抄之 大内記 敷

清古讀法後老可合來仕書上

之自相存之知依之取去則合懈

意之來越之其月似意更思後

佛のやうき たつらうき 執り佛事

大法會事 以 拜高き 寺長老

室中 南無 導師 所成 行員 奥坊

者 聽呼 請方 以首 行老 藤里

可之 力者 駕典 了作 有者 佛

法 律 事 精 念 一 牢 之 重 業 樂

金堂 寶塔 經藏 鐘樓 食堂 休

所 敷 門 二 階 湯 屋 僧 坊 金 色 寺

身 架 米 白 檀 方 像 堂 薩 脇 土 天

尅 取 一 細 金 彩 糸 給 像 古 鋪 落

濃 墨 畫 一 萬 本 寫 摺 曼 陀 經 將 讀

取 悉 讀 誦 經 王 教 行 經 法 而 酒

随罹厄念誦法華經石上以由
供養持齋禪律計數功本
攝待子僧供養此人於行處但
市採舟被相福物未用之怪難也
擬助成下法修之此也修難
儀以估白計可被之若此也
伴也表攝之僧教白

九月十三日

沙汰

遣上侍者法中

着れ白人披見以筆識可者
淨給仕方被撰形人今將
く来月信常并素法也む可謝

幕大衆を以て在位優越蓋綏殆必
意膏燻も相公蓋白拂法標
燻も蓮花卓子机陳時々練以去
た乃々儀や吾國事振奮る事
調並也心事は海内紙面有眼共
以て之を可致愧元事細約々事

時々毎々講義

九月日

侍

平入道度

入院新命退院西堂久不申相
者ももる可石信申公事名目
者程且為調經の爲に大齋作同

去後夏秋可憐時分以釋釋
儒及法寺諸社平及及法院
信事以信時按心作法賜物
帛絲淨身母有實以調養之仁
古先以者亦中一美用仁之人
存念先委細之及法也釋家
堂頭和尚末業為堂主知事
多都寺監寺前主法主典座
直感部管部可修達主來主
津頭之首方主前堂後中主
首座書記藏主維那知客燒
香約主末住持法主湯茶主評主

侍之けし者為法僧塔以坊

且道僧之席之食

行者各須別未中未供以堂司

庫子炭以調素人各見部出

納山守本寺一守少人鈴振為也

中者長老之知典座女系八

并戒人之法竹也聖道志一寺

拾授執行別當主更學以座

至院主執由主人達以周聚法橋

律師僧都法下僧正圓次大

勸進少別當得兼内德奉己謙

至玉在預專當勿當部維那

一 寺主に在りて中務仕等國親等の
有職僧總僧徒共程に存せり
相傳遊舞僧信書外僧當に
孝聖及素後僧馳使因服推事
及信隱阿羅者人任人數云然
之布麻相乳觸不可言其下
心也法中淨才學亦其
所深美不貽之庶被名譽志在
本寺也通事又先名の中令掛
塔之僧之事事々々せ預清作
容惟主長入以每事均奉令
次名に禮す

十月二日

沙流

追之上衣鉾侍と律師ひょうし

浄礼じやうらいと自ら無なく神かみ心事しんじ疑ぎ

中なかつと作しやう作しやう調てう業ごう人にんおし事こと

吾われ可べ然に仁にんと深ふか祖そ任にん思し身み令れい

主しゆををのの事こと事こと物もの物ものししるる波なみ物もの

祿ろく物もの未ま可べ被ひ暇まと丸まる方かた丈ぢやう西せい堂だう

者しや後ごはは少せう神かみ一いつ重じゆうたた素そ羅ら清せい

番ばん羅ら之の法ぽう紺こん結けつ紋もん紺こん花はな蓋がい性じやう

茶ちや黄わう單だん布ふ二に端たんと糸いと細こ英えい等とう

知ち事じ方かた方かた素そ紺こん物もの屯とん再さい復ふく

單だん衣いと海うみ花はな綾あや木き綿わた木き者もの

一 靴頭首方素紗衣絮袋
 各一帖 外帽子 留襪子 拄杖
 肝提巾 布 袂 鋒巾 袴 布
 箸匙 木綿 肚 腹 蒲團 花 瓶
 香爐 香 人 香 籠 火 筋 筋 燭
 个 筵 曲 水 古 波 布 敷 小 木
 頭 首 下 下 衣 布 膝 也 磁 盆 盆
 水 織 紅 糟 糟 鷄 盤 卷 羊 卷
 猪 麥 驢 腸 卷 羊 卷 砂 糖
 羊 卷 恒 純 饒 頭 素 麵 基 卷 子
 麵 卷 餅 菜 子 木 柙 棋 子 檮
 漆 瓦 澤 芥 子 木 可 汗 時 系

お通伏 堯曲 黄鉄 梅 餅 茶 具

茶 素 餅 箱 小 乃 容 形 三 茶 園 之

清 時 美 可 紅 潤 墨 茶 白 之 建

盡 下 田 加 蓋 鏡 也 之 茶 境 并

本 校 素 美 八 入 蓋 封 茶 靴 茶

袋 茶 海 茶 巾 茶 巾 袋 是 湯 瓶

鐘 子 櫛 茶 之 磨 木 再 打 敷 豆 子 標

子 通 膳 之 括 打 袋 同 可 被 別 裝

や 巾 付 志 巨 腐 卷 之 辛 練 冬 雪

林 茶 再 暑 預 巨 腐 卷 之 辛 練 冬 雪

茶 寒 之 汁 也 之 茶 之 織 布 之 茶

海 中 房 昆 虫 鳥 以 在 是 事 也

煮落筋解毒即法者荷上磨子
相如相成子能素胡凡可法納更

華里茶苗園豆打薺大酢

和布喜香神鳥藻實干甘若

塩若酒突松茸中芥馬菜末

在中可一之可一及菓子有生

栗鴉梨串柿糖大柿干菓子花梨

子枝推美田菓子覆菓子百合菜

冬陵子古爾也之用信眼病眼

案鴨背眼像瓜之酒出及菓子

控心新法遠ををる為菓子守也

依不皇相菓子細今集相傳

時可計申也名之禮

十月日

某

昔者持病再發又心等後病處

芳木更發毒以由療治矣治治

為醫骨仁心救未聞也問人來

秋和氣丹波典藥官見粒在以旅

美流之藥者之姓仁心云奉直

作也針法湯治淋治春生之者

計大切作いあんあまん所字中

風之字以風意刺赤刺肉痔肉

癰丁腫物瘡病咳病瘰癧木

共心如如也之智之癰狂癰病傷寒

仁以但渡唐之舟中終業種
高曲之君大系秘藥之科敢
之
之事一被用和柔去合泰也
不本入草之湯治風爐瀝泉未
其指費以凡坊肉也度濁酒酸
可睡眠皆沈形儀敢初以也
飽酒所化之方者惡藥也辛者
本途之病不核可疲勞果在膝
手熱欬勞傷則食失食油更
和食食之更之極極飲名淺
味煖湯寒之寧薄和矣下重
脂皆以禁之也中省心

大養之養膳厨製式書納法
郡司判友代本沙法書
後之極あり細書及書何様
尋面海の事可碇書
(Small text in the background of the main text)

三月三日

年人作

謹に紙書書敷

清消息由披園抄
西村北東お名程謝
國物係務進喜信
漢を根津書也何
東内之屬政次
只此始外
(Small text in the background of the main text)

や入境者任儀式等前並事務注

後す子細を願人本日並市仕恒

例事の事案院版蔵物積物

以下書付の事案物難事厨調

種々事柄應意経美富主事

法海也成市主事也約事

大分務本面記又書公文田

所係務勅宣書事判官代

勅文廣勅勅目權守目見目

録國宰相小目代僅供用又司

二月三日甘徹使給事

分泉又及主百姓信江也抄

時時強^{せん}後^ごに^の續^{つづ}法^{ぽう}法^{ぽう}眼^{がん}に^の貢^{こう}納^{なつ}
調^{てう}を^を准^{じゆん}納^{なつ}准^{じゆん}布^ふ海^{かい}例^{れい}列^{りやく}納^{なつ}
車^{くるま}遠^{えん}に^の信^{しん}文^{ぶん}祖^そ教^{きやう}祖^そ米^{まい}遠^{えん}大^{だい}
納^{なつ}下^げ年^{ねん}注^{しゆ}收^{しゆ}納^{なつ}繳^{けう}納^{なつ}に^の濟^{けい}期^き
現^{げん}初^{しゆ}多^た名^な代^{だい}に^の備^び米^{まい}納^{なつ}出^{しゆつ}准^{じゆん}據^こ
早^{せい}川^{せん}南^{なん}次^じ拾^{しやく}田^{でん}石^{せき}漢^{かん}換^{かん}と^の動^{どう}
注^{しゆ}美^{まい}用^{よう}後^ご大^{だい}部^ぶ合^{がふ}動^{どう}合^{がふ}教^{きやう}云^ん
至^し如^に諸^{しよ}社^{しゃ}に^の拜^{らい}多^たく^の奉^{ほう}
帝^{てい}寺^し社^{しゃ}に^の入^に堂^{たう}前^{ぜん}に^の法^{ぽう}會^{かい}を^を
く^の佛^{ぶつ}事^じ守^{しゆ}守^{しゆ}人^{にん}術^{じゆつ}に^の志^し博^{はく}也^{なり}
也^{なり}の^の年^{ねん}至^し矣^{なり}儀^ぎ黎^{れい}氏^し納^{なつ}法^{ぽう}に^の如^に
莫^な大^{だい}也^{なり}昔^{せき}混^{こん}渚^{しよ}保^ほる^る古^こ貢^{こう}を^を

規利臣是万事任難さる
 無通乱心事一随多秘意續面
 海期行るをく種々

土月言

城守儀部

進上集人佐殿法西事

○六千



破軍星より換の事
 正ふめ二六三三七四八
 五九六六七七八八
 九〇一ト二三十三四十五

一切の縁供はけんさかたきけ
 こは利ありつあふこの如
 こさむむはまきるあふり

干	十	名	異	の	月
己	甲	十月	七月	四月	正月
庚	乙	初月	初月	卯月	陽月
辛	丙	十月	八月	五月	二月
壬	丁	十月	九月	六月	仲夏月
癸	戊	十月	十月	七月	三月
支	二	子	丑	寅	三月
申	辰	巳	午	未	三月
酉	巳	午	未	未	三月
戌	午	未	未	未	三月
亥	未	未	未	未	三月

萬本類おのり
 大坂書林

心毎橋通
 南本町
 河内屋平七板

〇三〇

